

講演3

持続可能なサプライチェーンに向けた取り組み

常務執行役員 建築総本部 購買担当

原田 知明

アジェンダ

1. 協力会社の担い手確保・育成の取り組みの概要
2. 協力会社との連携：「兼喜会」とのパートナーシップ
3. 建設技能者研修施設「清水匠技塾」
4. 外国人材活躍に向けた取り組み：技能実習生受入支援

1. 協力会社の担い手確保・育成の取り組みの概要

【目的】

- ・近年、建設業における**建設技能者の高齢化や若年者不足**により、**担い手不足が慢性化**している。
- ・また、国内での建築工事案件の大型化傾向や、経済状況の変化の影響などで、**地域や時期によって労務需要の繁閑差が大きく、サプライチェーンの確保が難しい時代**となってきた。
- ・これらに対応すべく、サプライチェーンの維持・強化を目的として、**清水建設の協力会社の担い手確保・育成**に取り組んでいる。

【「兼喜会」との協働】

- ・清水建設の協力会社からなる組織「**兼喜会**」と協働でこれらの取り組みを推進している。

【担い手確保・育成に向けた施策】

- ・建設技能者研修施設「**清水匠技塾**」の活用
- ・入職支援
 - 高校との連携による工種体験授業・現場見学会の開催
 - 任期制自衛官向けの合同企業説明会への清水建設の協力会社の参加
 - ハローワークとの連携による建設セミナー・現場見学会の開催
 - 求人広告企業との連携による清水建設の協力会社の求人サイトの運営
 - **ウズベキスタン技能実習生の受入支援**

2. 協力会社との連携：「兼喜会」とのパートナーシップ

【兼喜会とは】

- ・清水建設の建設プロジェクトで仕事を行なう**専門工事会社**の中でも、**優れた技能・技術**を持った協力会社 **約1,300社**からなる清水建設の協力会社の組織。
- ・当社のサプライチェーンの中核となる存在。

【兼喜会の目的】

- ・福祉増進、建設技術の向上と品質確保、工事の安全促進、円滑なる運営で、**会員相互の親睦と清水建設の事業発展に寄与し、共存共栄を図ること。**

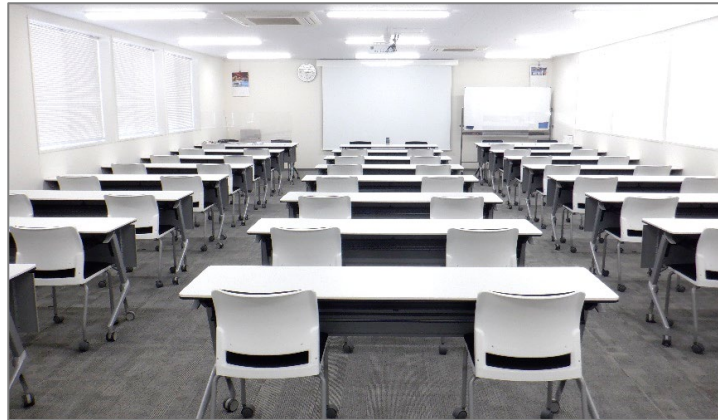


兼喜会と清水建設とは、「**車の両輪**」に例えられ、**相互信頼の強い絆のパートナーシップ**で結ばれている

3. 建設技能者研修施設「清水匠技塾」

【設立の経緯】

- ・建設現場での**建設技能者の不足懸念**に対して、**サプライチェーンの構築**を目的として、清水建設の協力会社の**担い手確保・育成**のための建設技能者研修施設を設立。
- ・**兼喜会企業との共同運営**で2020年7月より運用を開始し、2024年度の利用実績は**2,484名**、運用開始からの延べ利用実績は**約10,000名**。



【おもな取り組み】

■担い手育成

- 「清水匠技塾」での**各種研修・講習の実施**

■担い手確保

- 「清水匠技塾」の施設や研修・講習を見学することで、清水建設の協力会社の**教育体制をアピール**し、若年者の入職を促進

3. 建設技能者研修施設「清水匠技塾」

【具体的な取り組み内容】

- ・協力会社からの要望等に応じて都度新しい研修・講習も提案し、**研修・講習内容を改善・充実**
- ・全国の支店からの要請に対応して、**各支店地域での研修・講習の出張開催も開始**

■研修・講習

- ・新規入職者研修・特別教育講習
- ・1年目フォローアップ研修
- ・2年目フォローアップ研修
- ・**現場マネジメント研修**
- ・職長再教育（※更新手続きのため）
- ・**コミュニケーション向上研修**
- ・多能工スキル習得訓練
- ・CAD・BIM講習
- ・**ウズベキスタン技能実習生
受入教育・特別教育講習**
- ・**外国人材向け職長教育**
- ・**上記各種研修・講習の出張開催**

■見学会・他事業者連携

- ・清水匠技塾（教育体制）見学
施設見学
- ・研修・講習状況見学
- ・工業高校工種体験授業
- ・日本躯体コンクリート
打込み検定

■社内利用

- ・各種研修
- ・生産性向上支援
アシストツール
ロボット開発・実験

※赤字の項目

2022年度の説明会で紹介
して以降の新たな取り組み

3. 建設技能者研修施設「清水匠技塾」

【新規入職者研修】



講義



安全研修 フルハーネス体験



安全研修 VR事故体験



現場見学



先輩とのディスカッション

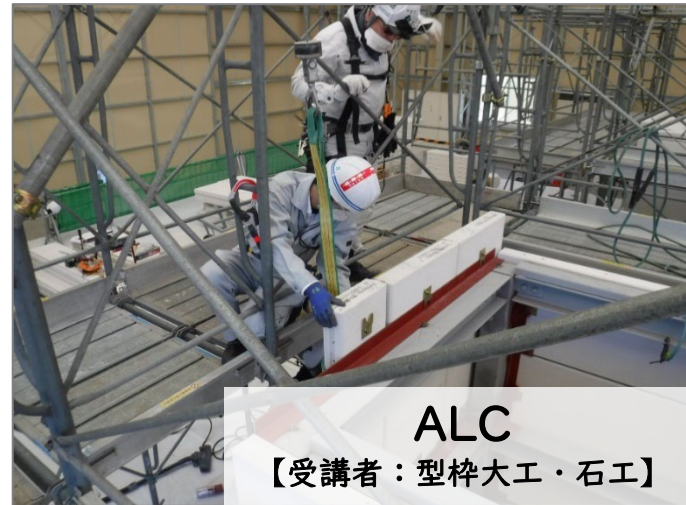
3. 建設技能者研修施設「清水匠技塾」

【各種練習会・講習会】



3. 建設技能者研修施設「清水匠技塾」

【多能工訓練】



【アシストツール・機械の開発・検証】



4. 建設外国人材活躍に向けた取り組み：技能実習生受入支援

【取り組み】

- ・国内の人口減少も見据え、**今後の建設業での外国人材の活躍に向けた取り組み**として、清水建設の協力会社への**技能実習生の受入支援**に取り組んでいる。

【背景】

- ・兼喜会企業から技能実習生受け入れについての相談があり、**これを受けて支援をすることとした。**
- ・**清水建設の従業員にウズベキスタン出身の人材**がいることから、まずはウズベキスタンからの受け入れ支援を開始した。
- ・ウズベキスタンは、**国としても日本への人材送り出しに積極的**だった。

【支援内容】

- ・清水建設の協力会社の技能実習生**採用面接を、現地から清水建設のウズベキスタン人材がサポート。**
- ・技能実習生が入国後、**清水匠技塾にて受入教育、特別教育講習**を実施（累計約**130名受入**）。
- ・清水建設の**メンター（ウズベキスタン人材）**が技能実習生を訪問し、**生活面・メンタル面をフォロー。**



4. 建設外国人材活躍に向けた取り組み：技能実習生受入支援

【ウズベキスタン技能実習生 受入教育研修】



安全体験学習 VR事故



安全体験学習 フルハーフ安全帯

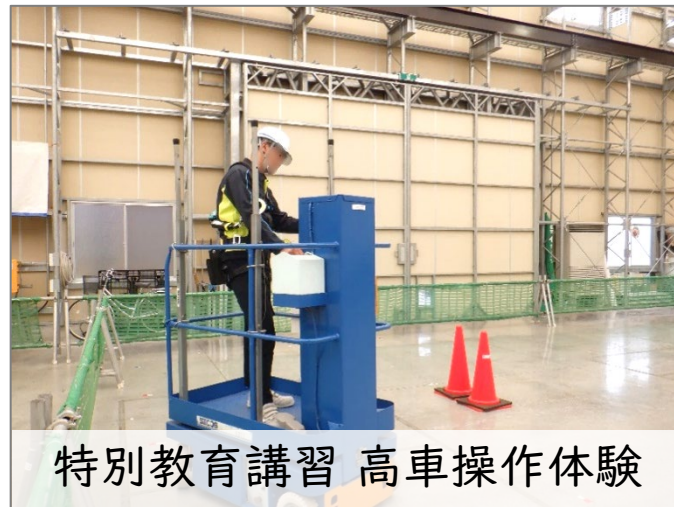


KYトレーニング グループワーク

【ウズベキスタン技能実習生 特別教育講習】



特別教育講習 丸ノコ



特別教育講習 高車操作体験